

I 令和2年度事業報告書

公益財団法人瑞鳳殿は、仙台藩以来の文化的遺産である瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の三霊屋及び経ヶ峯内伊達家墓所の保存整備並びに伊達家霊廟等に関する調査研究を行い、併せて、当該施設の鑑賞の機会を提供し、もって文化の向上に寄与することを目的としており、その目的を達成するため令和2年度において次の事業を行った。

(I) 事業報告

1 施設休館

(1)新型コロナウイルス感染症予防対策による休館

- ・4月11日(土)～4月17日(金) 土・日・祝日のみ休館
- ・4月18日(土)～5月18日(月) 全日休館
- ・5月19日(火)～5月31日 土・日・祝日のみ休館
- ・3月27日(土)～3月31日(水) 全日休館

(2)施設公開規程による休館

12月31日(木)

(3)福島県沖地震による休館

2月14日(日)～3月4日(木) 全日休館

2 施設公開

(1)御霊屋の特別開帳と遠忌法要等

- ①初代藩主伊達政宗公遠忌法要縮小開催、瑞鳳殿特別開帳 5月24日(日)
- ②三代藩主伊達綱宗公遠忌法要縮小開催、善応殿特別開帳 6月4日(木)
- ③二代藩主伊達忠宗公遠忌法要縮小開催、感仙殿特別開帳 7月12日(日)
- ④仙台七夕期間、瑞鳳殿特別開帳 8月6日(木)～8日(土)
- ⑤お盆、瑞鳳殿特別開帳 8月15日(土)
- ⑥秋の瑞鳳殿特別開帳 (特別御集印を300枚頒布) 10月3日(土)～18日(日)
- ⑦元朝詣り、瑞鳳殿特別開帳(瑞鳳殿のみ無料公開) 1月1日(金)
- ⑧新年拝礼式、瑞鳳殿特別開帳 1月2日(土)

3 企画展の開催

(1)秋の企画展

「瑞鳳殿の装飾文様と彫刻」(秋の特別御開帳期間に合わせて開催)

瑞鳳殿の装飾文様と彫刻の説明パネル、料拱の展示

10月3日(土)～10月18日(日)

(16日間 観覧者数:9,317人)

(2)新春企画展

「角田に嫁いだ牟宇姫への手紙」

—父政宗公、兄 忠宗公からの愛情—

政宗公、忠宗公から牟宇姫に宛てた手紙を展示

2月1日(月)～2月13日(土)

(13日間 観覧者数:1,322人)

4 各種イベント

(1)七夕ナイト 夜間開催は中止

8月6日(木)～8日(土)

- ・拝殿で伝統七夕飾りの展示
- ・資料館での七夕ミニ企画展の開催

(3日間 観覧者数:1,052人)

(2)秋のライトアップ 夜間開催は中止

営業時間内のライトアップで縮小開催

11月20日(金)～29日(日)

①拝殿を活用したインスタレーション「灯り遊び」の実施

LED キャンドルと照明によるライトアップ

②境内の紅葉ライトアップ

(10日間 観覧者数:10,798人)

(3)伝統的な門松展示

展示期間:12月15日(火)～1月14日(木)

(29日間 観覧者数:5,217人 ※12月31日休館日、1月1日無料開放日を除く)

(4)講座等

①政宗歴史塾

(新型コロナウイルス感染症予防のため WEB 上での動画配信とした)

「WEB 開講特別版-瑞鳳殿創建時の知られざるエピソード」

8月3日(月)より公開中

伊達武将隊出演による動画制作を(株)ハートアンドブレインと共催

②鐘景閣とのコラボ企画の実施

瑞鳳殿を学芸員の案内で観覧し、鐘景閣で癒される体験

10月16日(金)

参加者 20名

(5)中止となったイベント

①奉納の会(公益財団法人 仙台観光国際協会)

②仙台青葉まつり出陣式(五葉山鉄砲隊)

- ③伊達家当主と廻る伊達家墓所巡り(6月・10月)
- ④七夕ナイト(夜間開催)
参道・境内ライトアップ、森のコンサート等
- ⑤仙台藩石州流清水派の茶道体験(秋の瑞鳳殿特別開帳期間内)
- ⑥秋の能楽(仙台市能楽振興会)
- ⑦植物ーインスタレーション
(一般社団法人「花降る街、仙台」とのタイアップイベント)
- ⑧秋のライトアップ(夜間開催)
- ⑨雛の展示「雛遊〜ひいなあそび〜」

5 広報事業

- (1)瑞鳳殿広報誌「経ヶ峯の四季第17号」の発行(12月)
- (2)瑞鳳殿ホームページ・SNS運用
- (3)観光情報誌等への情報掲出
- (4)仙台空港、JR、地下鉄構内への電照広告

6 瑞鳳殿施設の解説・案内

- (1)瑞鳳殿ボランティアガイドによる解説・案内
一般のお客様への対面でのガイドは自粛
ただし、9月から学校の修学旅行、遠足、校外学習等を目的とした団体等に対しては受け入れを再開

7 学校・観光事業者等に対する支援

- (1)校外学習受け入れ 53校 1,974人
新型コロナウイルス感染症の関係で夏頃までは校外学習を控える学校が多くみられたが、秋以降高校生を中心に修学旅行などでの来館が増加
- (2)出前講座の講師派遣 1件
仙台市教育局文化財課主催
文化財サポーター養成講座の2回目「瑞鳳殿と無尽灯廟」の説明と解説
- (3)博物館実習生の受け入れ
2名(東北学院大学文学部歴史学科3年)
大学における博物館学芸員養成課程(国家資格)で必須となる現場実習
実習期間:10月12日(月)～16日(金) (計5日間)

8 三代公副葬品分析調査

- (1)三代藩主伊達綱宗公副葬品酸漿蒔絵合子の内容分析調査
熊本大学大学院先端科学研究部
伊達綱宗公墓室内副葬品の調査酸漿蒔絵合子に遺された油脂状成分の同定と起源推定に関する調査

9 奉納・協賛

(1)奉納

- ・篠笛の献笛

8月6日(木)

山口流家元 山口 千壽

- ・宮城県酒造組合新酒奉納

3月23日(火)

4社奉納

(2)協賛

- ・仙台光のページェント協賛

(3)寄贈

- ・伊達政宗公武将像寄贈(生誕450年記念して制作)

(株)謙信 1体

10 防災・環境衛生活動

(1)新型コロナウイルス感染症対策

- ①感染症対策の表示
- ②消毒液の設置、境内の消毒・換気
- ③休憩スペースのテーブル・椅子等の撤去
- ④境内・資料館への入場制限
- ⑤受付窓口での安全対策
- ⑥財団職員の感染症予防対策

(2)瑞鳳殿すす払い

12月15日(火)

(3)消防訓練

3月2日(火)

11 施設等の老朽・安全対策

- (1)瑞鳳殿正面看板更新
- (2)本殿透塀塗替え修繕
- (3)涅槃門菊紋章装飾金箔補修
- (4)西参道(石段)脇、進入防止竹柵設置
- (5)参道石段敷石修繕
- (6)東屋改築設計業務

12 インバウンド対応

- (1)Uni-Voiceによる多言語音声ガイドシステム
- (2)瑞鳳殿 HP の環境整備
- (3)Wi-Fi 環境

13 お客様サービス

- (1)売店(休憩所)の運営・管理
- (2)観覧者専用駐車場の運営・管理
- (3)キャッシュレス決済(AirREGI・AirPAY・AirPAY QR)

14 事業所・従業員表彰

財団設立 40 周年で仙台市、仙台商工会議所より表彰
優良従業員 40 年で日本博物館協会、仙台商工会議所等より表彰

15 福島県沖地震による被害状況等

令和 3 年 2 月 13 日(土)23 時 8 分頃発生

(1)被害状況

- ・本殿、御木像、涅槃門、拝殿、資料館などの施設に大きな被害はない
 - ・参道、石段、石垣などの地盤に大きな被害はない
 - ・ただし、墓石や石灯籠等の倒壊が多数
- 総数 231 基(御子様御廟を含む)
倒壊 137 基
未倒壊 94 基

(2)安全対策

- ・瑞鳳殿涅槃門を開扉し、観覧ルートの安全を確保
- ・倒壊した石灯籠の一部をネットで防御
- ・瑞鳳殿本殿前の石畳の段差を切削
- ・観覧ルート脇の石灯籠の傾斜した上部を取り外し脇置き
- ・木柵等の設置により墓石や石灯籠との距離確保、立ち入り制限
- ・御子様御廟エリアへの立入禁止
- ・上記の安全対策を施し、3 月 5 日(金)に再開館

(3)今後の復旧作業

- ・経ヶ峯伊達家墓所を所管する仙台市と連携を図りながら、早期の復旧に向けて着手
- ・復旧方法は、仙台市の史跡指定を受けていることから文化財的価値を損なわない復旧や観覧者の安全確保のための倒壊防止策など、多様な視点から仙台市と連携し対応
- ・仙台市において復旧方法、費用、期間を積算するための測量設計に入り、設計後に観覧者の安全を確保しつつ復旧工事に着手

(Ⅱ) 観覧者数の動向 (3 ヶ年・対前年度増減比)

- ・平成 30 年度 267,438 人 (14%増)
大人:249,606 人 高校生:3,546 人 小中学生:14,286 人

- ・令和元年度 276,752 人 (3.5%増)
大人:258,004 人 高校生:3,983 人 小中学生:14,765 人
- ・令和2年度 102,582 人 (63%減)
大人:95,487 人 高校生:1,921 人 小中学生:5,174 人

(Ⅲ) 庶務報告

1 理事会に関する事項

- (1)第1回理事会 5月29日(金) 書面による決議
議案・霊廟整備積立資産への積立取り下げに関する件
 - ・令和元年度事業報告及び決算に関する件
 - ・評議員会の招集に関する件
- (2)第2回理事会 6月15日(月) 書面による決議
議案・理事長及び常務理事選定に関する件
- (3)第3回理事会 3月25日(木) 会場/江陽グランドホテル
議案・令和2年度収支予算補正に関する件
 - ・長期修繕計画改正と霊廟整備積立資産に関する件
 - ・常勤役員の報酬年額の決定に関する件
 - ・令和3年度事業計画に関する件
 - ・令和3年度収支予算に関する件

2 評議員会に関する事項

- 令和2年度定時評議員会 6月15日(月) 書面による決議
議案・評議員の選任に関する件
 - ・役員の選任に関する件
 - ・令和元年度決算に関する件

3 役員及び評議員並びに職員に関する事項(令和3年3月31日現在)

- (1)役員
理事9名 監事2名
- (2)評議員
9名
- (3)職員
事務局長(常務理事兼務)、次長、一般職員6名、嘱託職員2名、臨時職員9名

4 届出に関する事項

届出年月日	件名	届出先
令和2年6月29日(月)	令和元年度事業報告等の提出	宮城県知事
令和3年3月31日(水)	令和3年度事業計画書等の提出	宮城県知事

II 貸借対照表 令和3年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	44,035,190	76,362,920	△ 32,327,730
売掛金	107,960	418,316	△ 310,356
未収金	2,117,414	932,010	1,185,404
前払金	0	7,300	△ 7,300
前払費用	35,200	38,500	△ 3,300
流動資産合計	46,295,764	77,759,046	△ 31,463,282
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	731,992,242	735,373,883	△ 3,381,641
構築物	8,474,837	8,971,399	△ 496,562
霊廟関係資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	145,875,721	141,997,518	3,878,203
基本財産合計	888,342,800	888,342,800	0
(2) 特定資産			
霊廟整備積立資産	130,986,680	130,986,680	0
減価償却引当資産	49,806,944	49,806,944	0
資料購入積立資産	21,500,000	21,500,000	0
退職給付引当資産	25,035,000	25,908,079	△ 873,079
特定資産合計	227,328,624	228,201,703	△ 873,079
(3) その他固定資産			
建物	2,623,545	2,985,049	△ 361,504
構築物	13,326,102	15,410,816	△ 2,084,714
霊廟関係資産	2	2	0
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,770,296	2,408,867	△ 638,571
その他固定資産合計	17,719,946	20,804,735	△ 3,084,789
固定資産合計	1,133,391,370	1,137,349,238	△ 3,957,868
資産合計	1,179,687,134	1,215,108,284	△ 35,421,150
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,183,564	6,765,390	△ 3,581,826
預り金	387,913	248,885	139,028
賞与引当金	2,830,000	2,817,000	13,000
流動負債合計	6,401,477	9,831,275	△ 3,429,798
2. 固定負債			
退職給付引当金	25,035,000	25,908,079	△ 873,079
固定負債合計	25,035,000	25,908,079	△ 873,079
負債合計	31,436,477	35,739,354	△ 4,302,877
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産合計	782,556,000	782,556,000	0
(うち基本財産への充当額)	(782,556,000)	(782,556,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(105,786,800)	(105,786,800)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(227,328,624)	(228,201,703)	(△ 873,079)
正味財産合計	1,148,250,657	1,179,368,930	△ 31,118,273
負債及び正味財産合計	1,179,687,134	1,215,108,284	△ 35,421,150

Ⅲ 正味財産増減計算書 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	35,637	47,292	△ 11,655
基本財産受取利息	35,637	47,292	△ 11,655
事業収益	54,121,886	138,051,144	△ 83,929,258
観覧料収益	52,486,636	134,676,050	△ 82,189,414
刊行物販売収益	1,635,250	3,375,094	△ 1,739,844
受取補助金等	0	1,363,750	△ 1,363,750
受取国庫補助金	0	1,363,750	△ 1,363,750
受取寄付金	50,000	0	50,000
受取寄付金	50,000	0	50,000
雑収益	4,844,147	5,638,744	△ 794,597
受取利息	47,085	41,860	5,225
雑収益	4,797,062	5,596,884	△ 799,822
経常収益計	59,051,670	145,100,930	△ 86,049,260
(2)経常費用			
事業費	84,572,422	110,859,926	△ 26,287,504
役員報酬	2,628,078	3,313,470	△ 685,392
給料手当	36,814,930	35,959,140	855,790
臨時雇賃金	13,308,069	15,472,245	△ 2,164,176
賞与引当金繰入額	2,775,000	2,761,000	14,000
退職給付費用	636,080	1,051,000	△ 414,920
福利厚生費	7,011,821	6,717,378	294,443
交際費	68,172	165,449	△ 97,277
旅費交通費	24,273	70,643	△ 46,370
通信運搬費	336,983	378,993	△ 42,010
減価償却費	6,437,081	6,778,885	△ 341,804
消耗什器備品	331,958	1,686,127	△ 1,354,169
消耗品費	1,444,362	3,288,395	△ 1,844,033
修繕費	1,885,672	6,457,033	△ 4,571,361
印刷製本費	352,484	3,436,326	△ 3,083,842
賃借料	955,133	1,799,629	△ 844,496
広告料	579,461	1,652,418	△ 1,072,957
保険料	823,692	921,122	△ 97,430
支払手数料	402,741	956,246	△ 553,505
諸謝金	330,000	747,000	△ 417,000
租税公課	3,999,300	9,028,580	△ 5,029,280
支払負担金	180,374	938,172	△ 757,798
委託費	2,619,398	6,306,319	△ 3,686,921
光熱水料費	571,939	668,671	△ 96,732
燃料費	28,564	29,624	△ 1,060
雑費	26,857	276,061	△ 249,204

科目	当年度	前年度	増減
管理費	5,597,520	6,142,076	△ 544,556
役員報酬	1,030,029	1,387,930	△ 357,901
給料手当	1,828,437	1,601,316	227,121
賞与引当金繰入額	55,000	56,000	△ 1,000
退職給付費用	272,605	450,000	△ 177,395
福利厚生費	412,351	404,653	7,698
会議費	68,660	213,321	△ 144,661
交際費	15,312	15,450	△ 138
旅費交通費	16,342	47,507	△ 31,165
通信運搬費	112,221	80,756	31,465
減価償却費	525,910	525,910	0
消耗品費	8,976	8,840	136
修繕費	680	1,085	△ 405
印刷製本費	891	1,485	△ 594
保険料	16,468	15,708	760
支払負担金	23,426	7,650	15,776
光熱水料費	898,759	1,003,001	△ 104,242
燃料費	288,789	299,525	△ 10,736
雑費	22,664	21,939	725
経常費用計	90,169,942	117,002,002	△ 26,832,060
当期経常増減額	△ 31,118,272	28,098,928	△ 59,217,200
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	3	△ 2
建物除却損	1	0	1
什器備品除却損	0	3	△ 3
経常外費用計	1	3	△ 2
当期経常外増減額	△ 1	△ 3	2
当期一般正味財産増減額	△ 31,118,273	28,098,925	△ 59,217,198
一般正味財産期首残高	396,812,930	368,714,005	28,098,925
一般正味財産期末残高	365,694,657	396,812,930	△ 31,118,273
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産期末残高	782,556,000	782,556,000	0
III 正味財産期末残高	1,148,250,657	1,179,368,930	△ 31,118,273

IV 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	35,637		35,637
基本財産受取利息	35,637		35,637
事業収益	46,621,886	7,500,000	54,121,886
観覧料収益	44,986,636	7,500,000	52,486,636
刊行物販売収益	1,635,250		1,635,250
受取補助金等	0		0
受取国庫補助金	0		0
受取寄付金	50,000		50,000
受取寄付金	50,000		50,000
雑収益	4,844,147		4,844,147
受取利息	47,085		47,085
雑収益	4,797,062		4,797,062
経常収益計	51,551,670	7,500,000	59,051,670
(2)経常費用			
事業費	84,572,422		84,572,422
役員報酬	2,628,078		2,628,078
給料手当	36,814,930		36,814,930
臨時雇賃金	13,308,069		13,308,069
賞与引当金繰入額	2,775,000		2,775,000
退職給付費用	636,080		636,080
福利厚生費	7,011,821		7,011,821
交際費	68,172		68,172
旅費交通費	24,273		24,273
通信運搬費	336,983		336,983
減価償却費	6,437,081		6,437,081
消耗什器備品	331,958		331,958
消耗品費	1,444,362		1,444,362
修繕費	1,885,672		1,885,672
印刷製本費	352,484		352,484
賃借料	955,133		955,133
広告料	579,461		579,461
保険料	823,692		823,692
支払手数料	402,741		402,741
諸謝金	330,000		330,000
租税公課	3,999,300		3,999,300
支払負担金	180,374		180,374
委託費	2,619,398		2,619,398
光熱水料費	571,939		571,939
燃料費	28,564		28,564
雑費	26,857		26,857

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
管理費		5,597,520	5,597,520
役員報酬		1,030,029	1,030,029
給料手当		1,828,437	1,828,437
賞与引当金繰入額		55,000	55,000
退職給付費用		272,605	272,605
福利厚生費		412,351	412,351
会議費		68,660	68,660
交際費		15,312	15,312
旅費交通費		16,342	16,342
通信運搬費		112,221	112,221
減価償却費		525,910	525,910
消耗品費		8,976	8,976
修繕費		680	680
印刷製本費		891	891
保険料		16,468	16,468
支払負担金		23,426	23,426
光熱水料費		898,759	898,759
燃料費		288,789	288,789
雑費		22,664	22,664
経常費用計	84,572,422	5,597,520	90,169,942
当期経常増減額	△ 33,020,752	1,902,480	△ 31,118,272
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
建物除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 33,020,753	1,902,480	△ 31,118,273
一般正味財産期首残高			396,812,930
一般正味財産期末残高			365,694,657
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			782,556,000
指定正味財産期末残高			782,556,000
III 正味財産期末残高			1,148,250,657

V 財務諸表に対する注記(貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書)

1 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)を採用している。
- ② 固定資産の減価償却について
有形固定資産 定額法による減価償却を実施している。ただし会計規程第38条に基づき文化的価値を有する建物等については、減価償却は行っていない。
- ③ 引当金の計上基準
賞与引当金……職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込み額のうち当該事業年度に対応する見込額をを計上している。
退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上している。
- ④ 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	735,373,883	0	3,381,641	731,992,242
構築物	8,971,399	0	496,562	8,474,837
霊廟関係資産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	141,997,518	3,878,203	0	145,875,721
小 計	888,342,800	3,878,203	3,878,203	888,342,800
特定資産				
霊廟整備積立資産	130,986,680	0	0	130,986,680
減価償却引当資産	49,806,944	0	0	49,806,944
資料購入積立資産	21,500,000	0	0	21,500,000
退職給付引当資産	25,908,079	908,685	1,781,764	25,035,000
小 計	228,201,703	908,685	1,781,764	227,328,624
合 計	1,116,544,503	4,786,888	5,659,967	1,115,671,424

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	731,992,242	(692,492,242)	(39,500,000)	0
構築物	8,474,837	0	(8,474,837)	0
霊廟関係資産	2,000,000	0	(2,000,000)	0
減価償却引当資産	145,875,721	(90,063,758)	(55,811,963)	0
小 計	888,342,800	(782,556,000)	(105,786,800)	0
特定資産				
霊廟整備積立資産	130,986,680	0	(130,986,680)	0
減価償却引当資産	49,806,944	0	(49,806,944)	0
資料購入積立資産	21,500,000	0	(21,500,000)	0
退職給付引当資産	25,035,000	0	(25,035,000)	(25,035,000)
小 計	227,328,624	0	(227,328,624)	(25,035,000)
合 計	1,115,671,424	(782,556,000)	(333,115,424)	(25,035,000)

4 その他固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

その他固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	25,499,870	22,876,325	2,623,545
構築物	73,808,913	60,482,811	13,326,102
霊廟関係資産	66,586,470	66,586,468	2
車両運搬具	1,737,490	1,737,489	1
什器備品	16,487,226	14,716,930	1,770,296
合 計	184,119,969	166,400,023	17,719,946

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
仙台市市債平成29年度第2回公募公債	140,000,000	140,084,000	84,000
仙台市市債平成30年度第3回公募公債	50,000,000	50,025,000	25,000
仙台市市債令和元年度第3回公募公債	13,000,000	12,996,100	△ 3,900
合 計	203,000,000	203,105,100	105,100

6 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	2,817,000	2,830,000	2,817,000	2,830,000
退職給付引当金	25,908,079	908,685	1,781,764	25,035,000

VI 財産目録

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位:円)


貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	つり銭準備金	300,000
預金	普通預金 七十七銀行仙台市役所支店	運転資金として	36,408,162
	三井住友銀行仙台支店	運転資金として	7,327,028
売掛金	エアレジ	観覧料売上 クレジット・クーポン	107,960
未収金	仙台中税務署	消費税還付金	2,117,414
前払費用	PCA法人会計	法人会計クラウド使用料	35,200
流動資産合計			46,295,764
(固定資産)			
基本財産			
建物	瑞鳳殿、感仙殿、善応殿、仙台市青葉区霊屋	不可欠特定財産として公益目的に供している	731,992,242
霊廟関係資産	展示品	不可欠特定財産として公益目的に供している	2,000,000
構築物	殉死者墓石等		8,474,837
減価償却引当資産	仙台市市債平成29年度第2回	満期保有目的で保有し、公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の財源としている	60,000,000
	仙台市市債平成30年度第3回		50,000,000
	仙台市市債令和元年度第3回		13,000,000
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	産であり、運用益を公益目的の財源としている	18,997,518
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店		3,878,203
特定資産			
霊廟整備積立資産	仙台市市債平成29年度第2回	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的の事業に供している	60,000,000
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	45,986,680
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店		5,000,000
	仙台市市債平成29年度第2回	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的の事業の財源に供している	20,000,000
減価償却引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	46,380,352
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店		3,426,592
資料購入積立資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	20,000,000
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	1,500,000
退職給付引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	職員退職給付引当金に対応する資産として管理している	24,407,079
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店		627,921
その他固定資産			
建物	倉庫等	公益目的事業	2,623,545
構築物	避雷針、水銀灯電気設備等	公益目的事業	13,326,102
霊廟関係資産	伊達政宗坐像縮小模型等	主として公益目的事業	2
車両運搬具	公用車	主として公益目的事業	1
什器備品	銅製大花瓶、提灯掛等	公益目的事業	1,770,296
固定資産合計			1,133,391,370
資産合計			1,179,687,134
(流動負債)			
未払金	職員	退職金	1,781,764
	職員	超過勤務等	124,070
	日本年金機構仙台北年金事務所等	社会保険3月分・法人税等	547,964
	スズソー建設株式会社外	公益目的事業 修繕費	467,818
	株式会社ダイコク外	公益目的事業 消耗品費・賃借料等	261,948
預り金	職員	社会保険料、住民税	387,913
賞与引当金	職員	職員の賞与支給に備えたもの	2,830,000
流動負債合計			6,401,477
(固定負債)			
退職給付引当金	職員	公益目的事業退職給支給に備えたもの	25,035,000
固定負債合計			25,035,000
負債合計			31,436,477
正味財産			1,148,250,657


監査報告書

令和3年5月17日

公益財団法人 瑞鳳殿
理事長 藤本 章 様

公益財団法人 瑞鳳殿

監事 高山 香樹 

監事 中鉢 充雄 

私達は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度、公益財団法人瑞鳳殿の事業及び会計の監査を行いました。その結果を次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。